



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2020～2021 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「集う」



◆会長 村瀬 祐治 ◆幹事 岡崎 壮男 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 井ノ下 雄志

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1ー2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1254 回	58 名	57 名	48 名	—	84.21%
前々回 1252 回	58 名	57 名	44 名	1 名	78.95%

●点 鐘

●ロータリーソング われらの生業

●四つのテスト

●本日のゲスト

NPO 法人すえひろ 理事長 末広 賢治 様

●会長の時間

会長 村瀬 祐治



本日は NPO 法人すえひろ 理事長 末永賢治様をお招きしてお話しをお聞きする例会です。

短い時間ですが、末永様宜しく願いいたします。

★10月19日例会欠席

義父の葬儀のため欠席いたしました。関係各位の皆様にご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。

報告

★高山高山中央ロータリークラブ内規 理事・役員
の選考（指名委員会）次年度会長エレクト・
副会長・副幹事を決める会議

9月7日 現役員内定会議を開催（内規に基づき）

10月5日 歴代会長5期前 指名委員会を開催
して3名を推薦して頂きました

○次期 会長エレクト 中田 学さん

○次期 副会長 岩本正樹さん

○次期 副幹事 二木公太郎さん

12月7日、例会中に年次総会にて会員の皆様のご意見を伺います。

★10月23日

次期ガバナーの浦田幸一（伊勢中央RC）さん
次期代表幹事・次期地区幹事様 10名程と辻正敏
直前ガバナーもご来訪されました。クラブ

を代表して懇親会などに出席させて頂きました。
★本日は、第4回目の理事会を開催します。関係
者の方はこの場所にお集まりください。

社会奉仕 (Community Service)

ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活及び
社会生活に常に奉仕の理想を通用すること。
クラブの所在地域または行政区域内に居住する
人々の文化的生活環境基準を向上させるために、
福祉団体・地域団体・NPO・教育育成団・行政
などと連携してロータリアンが行う各種活動。
高山中央ロータリークラブとしては 今年度の
社会奉仕対象事業として

- ① 夏休み親子体験木工教室（新生コロナウイ
ルス蔓延防止の為中止）
- ② ポリオ募金
- ③ 不登校の生徒児童へのタブレット贈呈 義務
教育の確保
- ④ 学校へ訪問しキャリア教育について講演をす
る。

を計画しております。さらに 社会奉仕事業を
進めるため 地域社会ニーズを見出す 個人
的、または職業上の立場を生かして、地域のニ
ーズを調査して友好的な社会奉仕 ができるに努
めなければならないと思います。

また、皆様は個人的・企業的に沢山の社会奉仕
を行っておられます。機会があればお話をお聞
きしたいと思っております。

●幹事報告

幹事 岡崎 壮男

◎R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第2630地区ガバ
ナー事務所より

・公共イメージ向上マスク完売の御礼

・ガバナー月信11月号

- ・2021—22年度地区補助金申請について

○高山西ロータリークラブより

- ・例会変更のお知らせ
- 10月30日(金)休会
- 11月6日(金)休会
- 11月20日(金)→21日
- (土17:00～ひだホテルプラザ「創立55周年記念同伴例会」)

○四日市南ロータリークラブより

- ・「創立30周年記念誌」受贈
- <高山ライオンズクラブより>
- ・高山6クラブ親睦ゴルフコンペ参加の御礼

団体成績：優勝＝高山LC 準優勝＝高山岳城LC 第3位＝高山中央RC 第4位＝高山RC 第5位＝国際ソロブチミスト高山 第5位＝高山西RC

- ・寄付の御礼
 - ・「子ども・若者育成支援強調月間」街頭啓発活動中止のお知らせ
- <会報>

- ・美濃加茂RC

●本日のプログラム

社会奉仕委員会



委員長 鷹塚 英雄

来年は、東日本大震災から丁度10年経つこととなります。それを踏まえて災害について末永さんにお話しして頂きます。

<卓話>

NPO 法人すえひろ



理事長 末永 賢治様

「こんにちは。NPO 法人すえひろ、末永賢治と申します。東日本大震災から10年が経とうとしていて皆様の記憶から少しずつ薄れていっているのではと思います。災害や天災に対して日々

の備えをしなければならないのですが、その為には…常に防災に対して意識する事が大事だと思います。

本日は、東日本大震災を振り返っていただき、皆さんの命、ご家族の命、そして周りにいる大切な方達の命について考えて頂ければと思います。まず始めに「3秒ルール」をご存知の方おみえでしょうか？ その意味は、3秒で決断して、行動

するという事です。災害が起こった際、3秒という短い時間で考えて行動しないと命が守れない事があります。市内の小学生に向けて講演をさせて頂いた際に、このような質問をしてみました。「災害が起きた際に誰か助けに来てくれますか?」「災害が起きても高山は大丈夫、そもそも高山で災害が起きない」「家で災害の備蓄をしている?」「家族で避難する場所を決めている?」「住んでいる所や自分の行動する場所をハザードマップで危険箇所か把握している?」子供達に手を挙げてもらいました。その光景を見た校長先生達は驚かれます。これまで防災について勉強しているはずなのになぜ子供達はこんな状態なの?と。その原因は、親御さん達、おじいちゃん、おばあちゃん、ご家族が、普段質問した事に対して考えて子供達に伝えていないからです。いくら学校で防災を学んでも、家で「高山は大丈夫!うちは大丈夫」と言っている間は、防災について意識がまわりません。なので、子供達に学ばせる前に親御さん、町内、まち協を巻き込んで防災意識を変えてもらえるよう頼んでいます。

ここから大震災の話に移ります。私が以前住んでいた所が宮城県の女川町です。震源地はそこから130km先の海溝、マグニチュード9、震度7、観測史上最大です。直下型と違い直接の建物被害はありませんでしたが、津波の被害が大きかった。女川町は、目の前が海、平地が狭く、山地がある地域で、そこで私は、海から約1km、標高23mの所でレストランをやっていました。

(震災当時のビデオ動画 3分程鑑賞)

鉄筋、鉄骨の建物以外、木造の建物や5階建て建物も流されてしまいました。映像で「10mもあるじゃんかよ」とありましたが、当時「(気象庁発表で)6mの高さの津波が来ます」と放送で流れていましたが、実際には18mの高さまでありました。3月11日は寒く低体温症で亡くなる方もいました。映像の中で4人の方が建物を繋ぐ橋を渡って高い建物から低い建物へ逃げていましたが、逃げた建物は低かった為に4人の方は亡くなってしまいます。なんで元々の建物に留まらなかったか悔やまれます。女川町は、1万14人の人口で849人が犠牲になりました。過去に津波がありました経験から「ここまでは大丈夫」と思っていた方が多くいたと思います。私も「このレストランの場所までは津波は来ない」そう思って(放送があっても)直ぐには逃げませんでした。「皆さんは家具を固定していますか?」地震で家具は倒れます。固定方法はL字の金具が簡単ですのでぜひ固定して下さい。また寝ている部屋には家具を置かない事をお勧めします。私のレストラン内は、冷蔵庫や食器棚、本棚等、動かないように固定をしていましたが、中身が地震によって出たり、割れたりしました。レストラン内がガラス等で散乱し危ないので、外に出ていました。家族、従業員

を車に乗せて移動しようとバックミラーを見た時、遠くの電信柱がゆっくりと倒れ土煙と同時に水柱が見えました。とっさに津波が押し寄せてきていると悟りました。「津波だ！逃げろ！山に逃げろ！」私の声で全員が一斉に車から降りて山に向かって走り出しました。駐車場奥に数名の方がいたので「逃げろー！」と叫びました。が、彼らは津波に気付いていませんでした。逃げながら後ろを振り返った時には、その駐車場にいた方達は流されてしまいました。私が気付いて声を上げた時にはもう間に合わなかったでしょう。3秒…私が先ほど言いました「3秒ルール」。もし3秒遅れていたら、いま私はここに居ません。逃げながら「津波が来たぞー逃げろー！」と叫び続けました。山の一番高い所まで登り、その近くまで津波が押し寄せました。その高さは25mを乗り越えて34.6mまで遡上した事になります。「まさか」という事が起きました。私達が乗っていた車は、ある民家の1階に横倒しになって入っていました。その車の前に更に別の車が5台入っていて、その中の1台の車内にはご夫婦が遺体となって見つかっています。あの時の3秒で生死が分かれました。その様な事が今回の災害では多く起こりました。

次の日から遺体を探す事になります。消防団という事を聞くと、その時泥だらけになって遺体を探し、そして遺体を運ぶ消防団の姿を思い出します。なぜあの時「もう一段、高い所に逃げろ」と言わなかったかを、私は今でも悔やんでいます。私が現在皆さんの前で津波の話をする事を奮い立たせているのは、あの時に亡くなった方達の無念さ「私たちがあの時に「なぜ？」死ななければならなかったのか、また同じ状況が起きたら一人でも死ぬ人を減らしてほしい、そのために少しでも多くの人に伝えてほしい」と感じたからです。それが私の生かされている使命「伝える事」と思っています。

こちらの画像の棺の上にあるのは、その遺体の方が身に着けていたものを袋に入れたものです。水の中に浸った遺体は家族が見ても分からないくらい損傷があるからです。身元を知る手がかりの為です。火葬が出来なく、身元が分かった人から仮土葬もしました。避難所も混み合っていました。今はコロナで密にならない事を言われますが、大きな災害の時はそんな事も言えない状況になります。

高山のハザードマップを皆さん見たことがありますか？住んでいる所、仕事場、行動範囲のハザードマップはどうなっているか確認してください。しかし、この話をする時に同時にお伝えする事があります。それは「ハザードマップを信じるな」です。行政の方が折角作成したこのハザードマップですが、どうか知ってもらいたい事があります。ハザードマップ想定通りにならない時もある事を。群馬大学大学院の片田先生が釜石市の

子供達に教えていたのが「ハザードマップを信じるな」「いかなる状況下でも最善を尽くせ」「率先避難者になれ、最初に逃げろ」自分の命があつてこそ人の命を助けられます。まずは自分の命を守り抜くことです。

ハザードマップでの安全想定である場所の方は、今回の津波で逃げることなく亡くなった方が多く存在します。特にお年寄りの永くそこに住んでいる方です。これまでの経験で「まさか自分が。」津波に巻き込まれないと想定されたのでしょうか。だから「逃げろ」と言っても、言う事を聞かない事が起こりえます。私は町内会長さんや消防団の方に言います。過酷な言い方ですが、逃げろと言って逃げない方がいる場合、その方から離れろと言います。「言う事を聞かない方を助ける為に、自分が巻き込まれ犠牲になるな」という事です。震災時もそういった方を助ける為に町内会長さんが多く流され亡くなっています。

本日の中日新聞に、大川小学校の記載がありました。海から4km離れています、堤防が二重で6mの高さがありました。地震後50分も校庭にいた事になります。「なんで逃げなかった」と思います。多分先生方は、大丈夫とってしまった。それが先生、生徒108人の内、84名の犠牲結果となり、今回の震災で一番多く犠牲があった学校になりました。女川小学校も高台にあり、校長先生の判断が「一人も帰らせない」でした。迎えに来た親御さんも避難解除になるまで学校に滞在させました。その結果、高台下にある子供達の家は流されましたが、学校に滞在した事で全員無事でした。その時の判断で生死が分かれるという事があります。

心理学に、災害時には適切な避難行動を阻害する人間心理が存在すると考えられています。「異常：災害や事故等が起きているのにも関わらず、「自分は大丈夫」「今回も大丈夫」など、無意識の内に事態を過小評価してしまう心理状態の正常性バイアス」と「周りの人たちの行動に自分の行動を合わせてしまう心理状態の多数派同調バイアス」です。災害があった際は、周りが逃げないから大丈夫と判断するのではなく、先ずは逃げてください。そして3秒ルールを日頃から実践して下さい。

高山は大きな災害が無く大丈夫と思うだけでなく、いつ何があるか分かりません。今年は7月に豪雨災害が起きました。今回のコロナもそうです。そうゆう事が起きてても慌てない、常日頃から心も体も整えて頂ければと思います。繰り返しになりますが、ぜひ自分の命、ご家族の命、そして周りにおける大切な命を守るために、まずは自分の命を守り抜くこと、人の命も気になるけど、自分が生き残っていなければ次の命も助ける事が出来ないと思ってください。どうか皆さん、命を守ってください。

そして本日お話させて頂いた事を、おうちに帰ったらご家族と話して頂ければ幸いです。本日は、貴重な時間を頂きお話させていただき誠にありがとうございました。

11月のお祝い

<会員誕生日>

仲谷 政美	S 19年11月 1日
高原 清人	S 32年11月 2日
橋本 修	S 23年11月12日
山本 辰男	S 27年11月21日
清水 幸平	S 26年11月26日

<夫人誕生日>

都竹 太志	あやこ	11月 4日
平林 英一	紀子	11月 6日
村瀬 祐治	ひとみ	11月 8日
高橋 厚生	佳美	11月 9日
高原 武夫	優子	11月24日
松之木映一	洋子	11月26日
岡崎 壮男	さとみ	11月29日

<結婚記念日>

高原 清人	S 56年11月 2日
足立 常孝	S 53年11月 8日
岡崎 壮男	H 4年11月 8日
村瀬 祐治	S 59年11月10日
山本 辰男	S 53年11月14日
渡辺 甚一	S 55年11月15日
和田 良博	S 54年11月17日
大原 誠	S 58年11月20日
周 信夫	H 5年11月23日



<ニコニコ BOX>

NPO法人すえひろ 理事長 末永賢治様のご来訪を歓迎致します。本日は卓話をよろしくお願い致します。 **役員理事一同**

今日は社会奉仕委員会担当の例会です。講師は、ご存じの方も見えると思いますがNPO法人すえひろの末永さんをお願いしました。来年は東北大震災後 10 年を迎えますが、その辺を含めてお話をお願いします。 **鶯塚 英雄**

結婚記念日のお花をありがとうございました。

熊崎 元康

10/25「高山6クラブ親睦ゴルフコンペ」でハンディに恵まれ優勝することが出来ました。

和田 良博

「高山6クラブ親睦ゴルフコンペ」運よく準優勝させて頂きましたので。 **三枝 祥一**

SB の月間 22 勝。周東の連続盗塁。内川選手に深く感謝して。 **益田 大輔**

本日、早退します。

西倉 良介

